

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19158
課題名	旭川医科大学病院における輸血製剤の受領後から輸血終了までの経過時間の検討
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2021年 12月 31日
研究の対象	2018年1月～同年12月に外来・病棟（ICU、救急外来、手術室を除く）で輸血用血液製剤を輸血された方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：輸血実施時の状況等の診察記事） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（情報：電子カルテから抽出した輸血用血液製剤の到着確認時間、輸血開始時間、輸血終了時間、輸血実施部署、等）
研究の意義、目的	<p>輸血用血液製剤は、製剤の機能低下や副作用防止のために、温度管理された条件下で保管する必要があります。当院の運用では、血液製剤は輸血部門の専用保冷庫にて保管し、輸血予定時刻に臨床検査技師が各部署へ製剤を搬送しています。「輸血療法の実施に関する指針」には輸血製剤を受領後はできるだけ早く使用する、と記載があり、当院も指針に準じた院内マニュアルである「輸血実施手順書」を作成しています。</p> <p>今回、輸血用血液製剤の受領から輸血開始までの経過時間と、輸血終了までの経過時間を後方的に調査することで、当院における輸血実施の現状を把握し、輸血療法の安全性をより高めたいと考えています。</p>
研究の方法	病院情報システムより血液製剤（赤血球液、新鮮凍結血漿、血小板濃厚液）の到着確認時間と、輸血開始時間、輸血終了時間の記録を抽出し、経過時間を算出します。長時間経過していた場合は原因を考察します。
その他	利益相反関係にある企業や団体、開示すべき利益相反事項はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>住所：旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部 連絡先：0166-69-3381 連絡先担当者（研究分担者）： 山中 まゆみ 研究責任者： 藤井 聡</p>